



平成 26 年 11 月 12 日

各 位

会社名 株式会社ヒガシマル
代表者名 代表取締役社長 東 紘一郎
(コード：2058 福証)
問合せ先 管理部長 木通 昌生
(TEL 099-273-3859)

平成 27 年 3 月期第 2 四半期の業績予想と実績値との差異
及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 26 年 5 月 16 日に公表いたしました平成 27 年 3 月期第 2 四半期の業績予想と本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、平成 26 年 5 月 16 日に公表いたしました平成 27 年 3 月期通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績値との差異について

(単位：百万円)

平成 27 年 3 月期第 2 四半期連結業績予想と実績値との差異 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり四半期純利益 (円)
前回発表予想(A)	5,710	282	278	195	41.45
実績値(B)	5,773	360	400	220	46.87
増減額(B-A)	63	77	121	25	
増減率(%)	1.1	27.5	43.7	13.1	
(ご参考)前期実績 (平成 26 年 3 月期 第 2 四半期)	5,140	250	277	266	56.66

平成 27 年 3 月期第 2 四半期個別業績予想と実績値との差異 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり四半期純利益 (円)
前回発表予想(A)	4,342	154	191	150	31.69
実績値(B)	4,467	269	401	255	54.26
増減額(B-A)	125	115	209	104	
増減率(%)	2.9	75.0	109.4	69.7	
(ご参考)前期実績 (平成 26 年 3 月期 第 2 四半期)	4,273	153	194	131	28.01

差異の理由

平成27年3月期第2四半期累計期間につきましては、消費税率引き上げによる影響も少なかったことから、売上高予想を若干上回りました。利益面につきましては、不採算商品取り扱いの改善、売上原価及び販売費の削減効果等から営業利益は予想を上回り、更に円安に伴う為替差益の発生による営業外収益の増加から経常利益は予想を上回りました。

また、個別業績につきましては、売上高及び営業利益は連結業績と同様の状況で予想を上回り、経常利益は連結業績と同様の状況に加え、子会社の配当が実施されたことに伴い営業外収益が増加したことで予想を大きく上回りました。

2. 通期業績予想の修正について

(単位：百万円)

平成27年3月期通期連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益（円）
前回発表予想(A)	10,758	488	480	338	71.89
今回発表予想(B)	10,626	470	499	287	61.08
増減額(B-A)	△131	△17	18	△50	
増減率(%)	△1.2	△3.6	3.9	△15.0	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	9,804	431	460	431	91.69

平成27年3月期通期個別業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益（円）
前回発表予想(A)	7,911	174	251	207	43.70
今回発表予想(B)	7,846	180	355	233	49.54
増減額(B-A)	△65	5	104	25	
増減率(%)	△0.8	3.4	41.4	12.4	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	7,474	119	197	183	38.98

修正の理由

通期業績予想につきましては、食品事業の下方修正から売上高及び営業利益は当初予想を下回り、経常利益は、営業外収益が増加する見込みから当初予想を上回る見通しであります。また、当期純利益は、法人税等を見直した結果、当初予想を下回る見通しであります。

個別業績予想につきましては、売上高は食品事業の下方修正で当初予想を下回る見通しであるものの、製造・販売費のコスト負担の抑制が進むと思われることから営業利益は当初予想を上回る見通しであります。また、経常利益及び当期純利益は、第2四半期の業績を踏まえ当初予想を上回る予想であります。

以上